

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 2年 6月 23日

計画の名称	大槌町民が快適に生活できる環境の整備 (防災・安全)																
計画の期間	平成27年度 ~ 令和元年度 (5年間)					交付対象	大槌町										
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																
計画の成果目標 (定量的指標)	①処理場長寿命化対策実施率を 0% (H27) から 100% (H31) に増加させる。 ②整備地区の雨水函渠の整備率を 0% (H27) から 100% (H29) に増加させる。																
定量的指標の定義及び算定式																	
										定量的指標の現況値及び目標値		備考					
										当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)		最終目標値 (R1末)				
①処理場長寿命化対策実施率 (%) 長寿命化実施箇所 (箇所) / 長寿命化対策必要箇所 (箇所)										0.0%	45.6%	100.0%					
②整備地区の雨水函渠整備率 (%) 整備済み延長 (m) / 整備を実施する延長 (m)										0.0%	100.0%	100.0%					
										上段: 計画		下段: 実施					
全体事業費	合計 (A+B+C)	405 百万円 181 百万円	A	405 百万円 181 百万円	B	0 百万円 0 百万円	C	0 百万円 0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%	0.0%						
<b>事後評価</b>																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期											
						令和 2年 6月											
事業主管課である上下水道課を中心に評価書を作成・分析した後、関係課長より意見を伺った。						公表の方法											
						大槌町ホームページにて公表											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業 (下水道事業)											上段: 計画	下段: 実施					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	R1		
大槌処理区																	
A1-1	下水道	過疎	大槌町	直接	-	水セ	改築	浄化センター (改築更新)	長寿命化計画策定 (1/5箇所) 長寿命化計画策定 (1/5箇所)	大槌町						5	
A1-2	下水道	過疎	大槌町	直接	-	水セ	改築	浄化センター (改築更新)	長寿命化に伴う機械設備更新 長寿命化に伴う機械設備更新	大槌町						300	
A1-3	下水道	過疎	大槌町	直接	-	雨水	新設	雨水函渠整備 (浸水対策)	L=960m L=483m	大槌町						100	
											合計	405					
											合計	181					
B 関連社会資本整備事業												上段: 計画	下段: 実施				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	R1		
												合計					
番号														備考			
C 効果促進事業												上段: 計画	下段: 実施				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	R1		
												合計					
番号														備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・処理場の診断及び長寿命化計画を策定し、計画に基づき施設の長寿命化対策を実施することが出来た。
- ・雨水函渠の整備を実施したことにより、整備地区の浸水被害を軽減することが出来た。

II 定量的指標の達成状況	指標①（長寿命化対策実施数）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	長寿命化計画策定時の診断結果より、不具合が生じた場合の社会的影響を考慮し機械設備及び電気設備について対策を行い、建築施設については経過観察と判断したことによる。
			11箇所 / 11箇所		
	最終実績値	45%			
		5箇所 / 11箇所			
	指標②（雨水函渠整備率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	未整備箇所については、H30より県パッケージへ移行し整備を実施しているため。
			960m / 960m		
	最終実績値	50%			
		483m / 960m			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・引続き施設の長寿命化を図り、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

(参考図面)

